

保証書付

気化式加湿&空気清浄器 ベンタ エアウォッシャー

加湿と清浄を同時に行います。
フィルターパッドは使用しません。



LW15 K/KW



LW25 K/KW



LW45 K/KW

このたびはベンタ エアウォッシャーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に必ずこの[取扱説明書]をよくお読みのうえ正しくご使用ください。この取扱説明書は、商品をご使用になる方がいつでも見られるように大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意について	2~4	付属品と別売品	11
各部のなまえ	5	よくあるご質問	12~13
ベンタ エアウォッシャーのしくみ	5	このようなときは	14
正しい使い方	6	修理について	14
長く快適に使っていただくために	7	アフターサービスについて	15
お手入れ	8~10	仕様	15
保管のしかた	10	保証書	16

この取扱説明書はLW15 K/LW15 KW/LW25 K/LW25 KW/LW45 K/LW45 KW共通になっています。

安全上のご注意について

ペンタ エアウォッシャーを

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

●本書に示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表 示	意 味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図 記 号 の 意 味

 一般的な危険 警告 注意	 火災注意	 禁止行為	 感電注意	 めれ手禁止
 分解禁止	 触れるな	 必ず行う	 ACアダプターをコンセントから抜く	

警 告

ACアダプターおよびコンセントについて

交流100～240V以外での使用はしない。

表示された電源電圧(交流100～240ボルト)以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



傷んだACアダプター、ゆるんだコンセントは使用しない。

感電、ショート、発火の原因になります。



ACアダプターおよびDCプラグの抜き差しにより本器の運転または停止をしない。
また、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしてはならない。



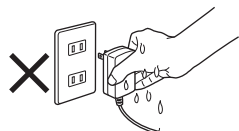
ACアダプターの刃や刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、ACアダプターを抜きほこりを取る。

ほこりが付着している場合、発熱による火災や感電の原因になります。



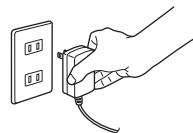
ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない。

感電やけがをすることがあります。



ACアダプターは他の商品に使用しないでください。

使用時以外はACアダプターをコンセントから抜く。



火災の原因となることがあります。

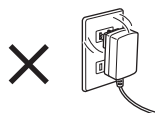


ACアダプターを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また重いものをのせたり加熱しない。

ACアダプターが破損し、火災・感電の原因となります。



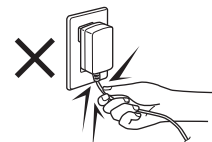
ACアダプターは根元まで確実に差し込む。



差し込みが不完全な場合、発熱による火災や感電の原因になります。



ACアダプターを抜くときは、ケーブルを引っ張らない。必ずACアダプター本体を持って抜く。



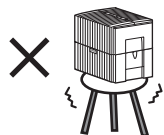
ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



警告

使用場所について

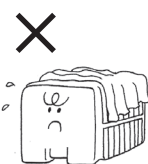
ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に置かない。



落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。



空気取り込み口、送風口にふきんなど空気の出入りを妨害するものを置かない。



感電・故障の原因となることがあります。

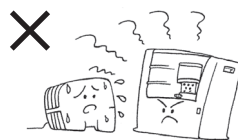


浴室など湿気の多いところで使用しない。

感電・故障の原因となることがあります。



本器やケーブルを熱器具(ストーブなど)に近づけない。



ハウジングやケーブルの被膜が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



テレビ、ステレオ、ホットカーペットなど、電気製品の上で使用しない。

水がこぼれると感電や故障の危険があります。



床暖房の上に直接置かない。

洗浄水が温められ雑菌の繁殖の可能性があります。

使用上の注意について

お子様やその他制限のある方のみでは使用しない。幼児の手の届く場所やペットの近くで使用しない。



けがや感電の危険があります。



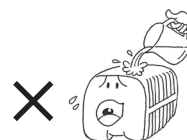
空気取り込み口から物などを入れない。

ファンを傷めたり、使用者や本器のそばにおられる方がハイスピードで飛び出してくる物や破片でけがをされる可能性があります。



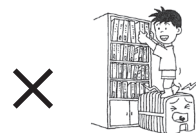
上部ハウジングのすきま(空気取り込み口)から水を注入することは絶対にしない。

モーターが故障し、火災・感電の原因となります。



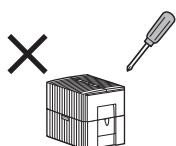
本体の上に乗ったり、踏み台にしない。

本体が変形し、感電・故障・けがの原因となることがあります。



お手入れについて

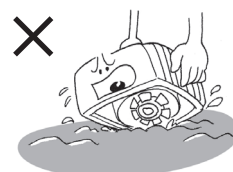
お客様ご自身で、本器を分解・修理・改造はしない。



火災・感電・けがの原因となりますので、絶対におやめください。修理に関するご相談は **修理について P.14** をご覧になり、総販売元に修理をご依頼ください。



モーター・ファンユニットを直接水で洗ったり水をかけない。



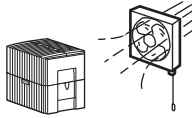
火災・感電・故障の原因となりますので、絶対におやめください。



⚠ 注意

使用場所について

燃焼器具といっしょに運転するときは、こまめに換気する。



換気が不十分な場合は、燃焼器具により酸素不足や一酸化炭素中毒になることがあります。
ペンタ エアウォッシャーは換気機能はありませんので、換気扇のかわりに使用しないでください。

使用上の注意について

先に電源ボタンで電源を切り、ACアダプターをはずしてから上部ハウジングを取る。



感電・故障の原因となることがあります。

上部ハウジングの格子状の面、および側面は180度以上折り曲げない。



破損の原因となることがあります。

水道水※以外は使用しない。

下部ハウジングに水を補充する際は、水道水をご使用ください。
赤水・井戸水・イオン水・アルカリ水等は使用しないでください。



※ 日本国内での使用・日本の水道水の使用を前提とした品質・性能の保証となります。

ローラーディスクハンドルを無理にとりはずさない。



ハンドルは無理にとりはずすと破損の原因となることがあります。

移動させる場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜き、下部ハウジングの水を捨てたあとに行く。



内部の水が室内にこぼれて家財などをぬらしたり、火災・感電の原因となることがあります。

水道水は、WATERLINE(水位線)を超えて補給しない。



ギアにカルシウム等がつき異音や動作不良、モーターの故障の原因となることがあります。

長時間運転しないで作動を連続休止する場合は必ず内部の水を捨てる。



洗浄水中にカビが繁殖し、悪臭、健康障害の原因となります。
連続して作動を休止する場合は内部の水を捨て、清掃してください。

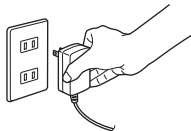
ローラーディスクハンドルを持って振り回さない。



ハンドル、ローラーディスクの破損の原因となることがあります。またハンドルからはずれたローラーディスクで、本人又は周囲の人にけがをさせる可能性があります。

お手入れについて

お手入れのときや、長期間本器をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜く。



けがややけど、絶縁劣化による感電・火災の原因となることがあります。

お客様ご自身でギアの分解・修理・改造はしない。



分解すると組立てができなくなります。

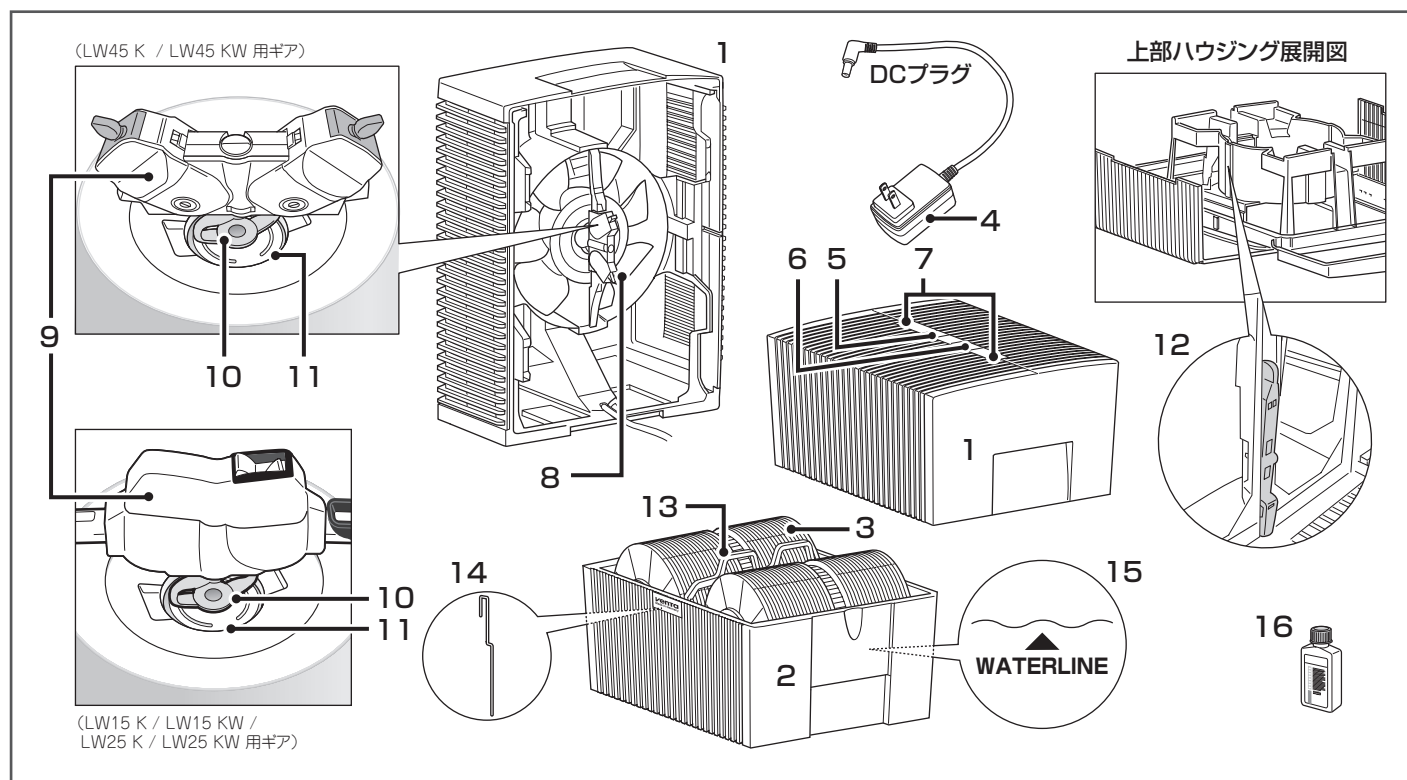
お願い

- お休みになるときは、直接風が体や顔に当たらないようにして使用してください。
足元に置いてのご使用をお勧めします。



- 本器に同梱されている取扱説明書なしに有料、無料を問わず貸したりしないでください。

各部のなまえ



1. 上部ハウジング

2. 下部ハウジング

3. ローラーディスク

LW15 K / LW15 KW : ローラーディスク 1 個

LW25 K / LW25 KW : ハンドル付ローラーディスク 1 個

LW45 K / LW45 KW : ハンドル付ローラーディスク 2 個

4. AC アダプター

5. 電源ボタン

6. 風量切替ボタン

7. 開閉ボタン

8. モーター・ファンユニット

9. ギア

ローラーディスクを回転させる

10. モーター接続ゴム

11. 固定板

12. 安全装置

上部ハウジングが浮き上がった場合、自動的にファンの回転を止める装置

13. ローラーディスクハンドル

14. センサー金具

下部ハウジングの内側にあります。

15. WATERLINE (水位線)

下部ハウジングの内側にあります。

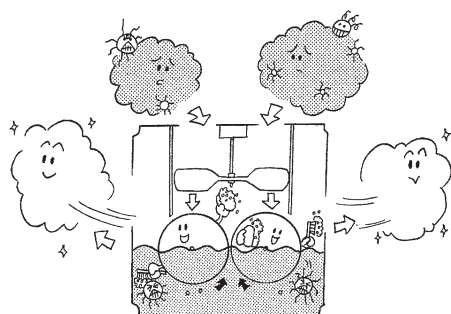
16. ベンタ ハイジエン液 50ml ボトル

ベンタ エアウォッシャーの加湿・清浄能力を高め、洗浄水中の水あか・カルシウム・臭いなどを抑えます。

部品については、P14 の総販売元 (株) インターフェストへお問い合わせ下さい。

ベンタ エアウォッシャーのしくみ

「空気をあらう」ベンタのしくみ



① 乾いて汚れた空気をファンで吸引し、ローラーディスク上の水にほこり、チリ、花粉、PM2.5、ホルムアルデヒド、タバコの煙のいやなおいなどを吸着させ、洗浄水(水道水+ベンタ ハイジエン液)に取り込みます。

② 同時にきれいな水だけが自然蒸発(気化)します。

③ ①と②が繰り返されることにより、加湿と清浄度を上げていきます。

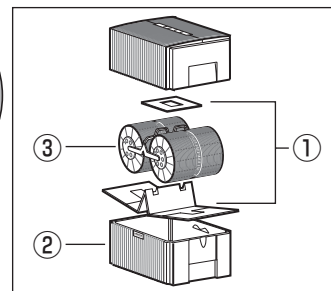
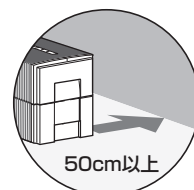
正しい使い方

1 お使いになる前に

緩衝用発砲スチロール横からハイジエン液を取り出してください。

1. 上下ハウジングの輸送用保護材①を取り除いてください。
2. ローラーディスク③を下部ハウジング②に正しくセットしてください。
3. エアウォッシャーは傾きのない平らな乾燥した場所に設置し、壁、家具、その他の障害物から最低 50cm 以上離してください。
4. ご使用になる前に、本体と AC アダプターに破損や不具合がないかを確認してください。万が一、破損や不具合がある場合は、ご使用にならず直ちに(株)インターフェストへご連絡ください。

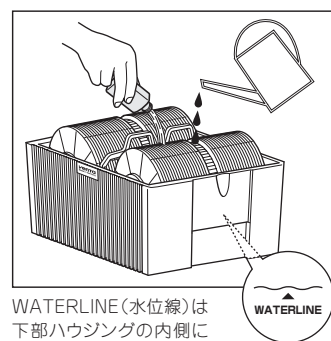
注) 本器が入っていた化粧箱および梱包箱は保管及び修理時に必要ですので捨てないでください。



2 水の補給

ローラーディスクを下部ハウジングに置いた状態で、水道水を WATERLINE (水位線) ※¹ 以下に給水し、ベンタ ハイジエン液 50ml ボトル 1 本を添加してください。

- 水道水※² 以外の水 (赤水・井戸水・イオン水・アルカリ水等) を使用しないでください。
- 水道水の補給は、WATERLINE (水位線) 以下にしてください。WATERLINE (水位線) を超えて使用されますと、ギアやモーター・ファンユニットに水が入り、作動不良の原因となります。
- 洗浄水が下部ハウジングの底より約 2cm 以下になった場合は、自動的に運転が止まります。(▼ お知らせランプ赤色の点灯)
- ベンタ ハイジエン液を先に添加し、水道水を注ぐと泡立ち故障の原因となることがあります。



3 上部ハウジングを下部ハウジングにセットしてください。

4 操作

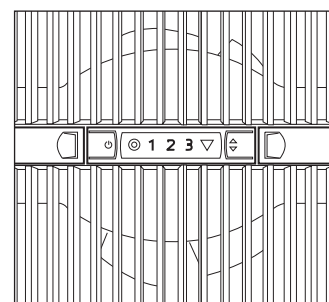
上部ハウジングをセットし AC アダプターをコンセントに差し込みます。

① ボタンを押すと電源が入ります。

◆ ボタンを押して風量を調節してください。モーターの回転を早くすると、空気量が増し、加湿能力が上がります。

(スピードは LW15 K / LW15 KW:2段階, LW25 K / LW25 KW / LW45 K / LW45 KW:3段階)

注) ローラーディスクは約 1 分間に 1 回転でゆっくり回転します。



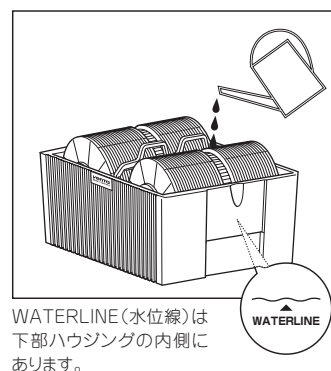
5 メンテナンス

気化により蒸発して減った量の水を毎日補給してください。

- ベンタ ハイジエン液の内容成分は気化蒸発しないため、ハイジエン液を毎日添加する必要はありません。また、水道水の補給は必ずローラーディスクを置いた状態で WATERLINE (水位線) 以下にしてください。
- 洗浄水が下部ハウジングの底より約 2cm 以下になった場合は、自動的に運転が止まります。(▼ お知らせランプ赤色の点灯)

ご注意

電源を切ったあと、ファンは少しの間回ります。(はずみ効果)



※ 1 WATERLINE (水位線) を超えて水道水を入れた場合・水道水以外の水を入れた場合・ベンタ ハイジエン液以外のものを添加した場合は保証期間中の無償保証の対象外となります。
※ 2 日本国内での使用・日本の水道水の使用を前提とした品質・性能の保証となります。



警告

- 給水は、電源をオフにし、AC アダプターをコンセントから抜いて、上部ハウジングを取り外してから行う。感電や故障の原因となることがあります。

- 空気取り込み口から水を注入しない。

空気取り込み口の下に、モーターとファンが取り付けられています。感電やモーターの故障の原因となりますので空気取り込み口からの水の注入は絶対におやめください。



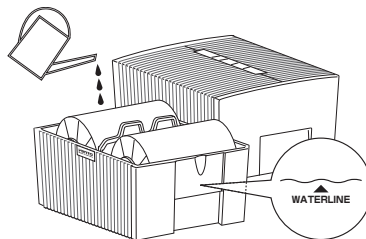
注意

- 本体をしっかりとした水平な面にまっすぐに置く。
- 空気循環のために上面、加湿過多にならないために 壁から約 50cm 以上離す。
- 給水するとき、クリーニングまたは移動のとき、水がこぼれないように気をつける。
- 空気取り込み口、送風口に空気の出入りを妨害するものを置かない。
- 水道水の補給は、ローラーディスクを置いた状態で WATERLINE (水位線) 以下にする。
- 水道水を毎日補充して、からにしない。洗浄水が下部ハウジングの底から約 2cm になった場合は運転が自動で止まります。
- モーター及び上部ハウジングは水洗いしない。故障の原因となります。
- 下部ハウジング、ローラーディスクを 2 週間ごとに清掃する。
- ギアは分解清掃しない。
- ベンタ純正の別売品以外は入れない。

長く快適に使っていただくために

毎日

蒸発した水分量だけ、新しい水道水を補給して下さい。
給水の際は、上部ハウジングを取り外し、ローラーディスクを置いた状態で新しい水道水を下部ハウジングの WATERLINE（水位線）以下に※¹ 給水して下さい。



WATERLINE（水位線）は下部ハウジングの内側にあります。

ご注意

- 給水の際、モーターに水がかからないように上部ハウジングを取り外してください。モーターに水がかかると動作不良を起こします。
水濡れによるモーターの動作不良は無償保証の対象外となります。
- 上部ハウジングを下部ハウジングに置いたまま、上部ハウジングの一部を開けて給水しないで下さい。
- 水道水の補給は、ローラーディスクを置いた状態で WATERLINE（水位線）以下にしてください。WATERLINE（水位線）を超えて使用した場合の動作不良は無償保証の対象外となります。

10～14日ごとに

洗浄水を捨て、下部ハウジング、ローラーディスクをブラシなどで清掃し、新しい水道水を入れ※¹、1 回量のベンタ ハイジェン液を添加してください。ベンタ ハイジェン液は蒸発しないので、毎日添加する必要はありません。

ご注意

- ベンタ ハイジェン液以外の物を使用しないでください。※¹
モーターやギアの故障の原因となります。
- ベンタ ハイジェン液はベンタ エアウォッシャー専用ですので、超音波式、ヒーター式、他の加湿器などベンタ エアウォッシャー以外では使用しないでください。

半年に 1 回

上部ハウジングを開き清掃してください。
(P.8「お手入れ」参照)

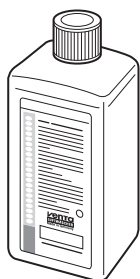
ローラーディスク、下部ハウジングの清掃にはベンタ クリーナーをご使用ください。

汚れに応じて

上部ハウジングやモーター・ファンユニットにほこりがついたときは、掃除機などで外側より吸い取ってください。

注) モーター・ファンユニットは分解および洗わないでください。

ベンタ ハイジェン液の添加量



ご注意

10～14日ごとの洗浄水の交換時にベンタ ハイジェン液（1回分）を添加してください。

同梱されている付属品 50ml ボトルは 1 本全量を添加してください。

別売品の 500ml ボトルの場合は容器のラベル 1 目盛り 1 回分を添加してください。

※ 1 WATERLINE（水位線）を超えて水道水を入れた場合・水道水以外の水を入れた場合・ベンタ ハイジェン液以外のものを添加した場合は保証期間中の無償保証の対象外となります。

お手入れ



警告

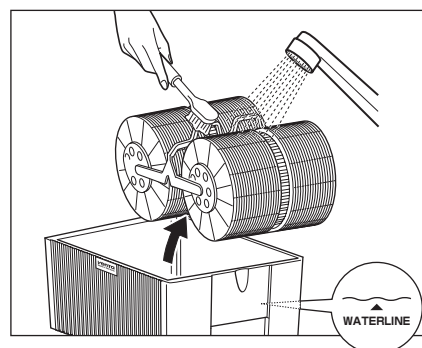
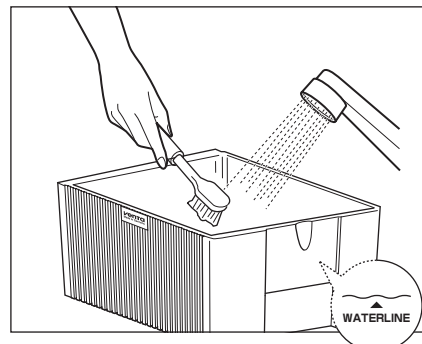
- モーター・ファンユニットに水をかけたり、まる洗いはしない。
感電や故障の原因となります。
- お手入れは、電源をオフにし、AC アダプターをコンセントから抜いて行ってください。

1 下部ハウジング、ローラーディスクの清掃

10～14日ごとに洗淨水を取り替え、ローラーディスクと下部ハウジングを清掃してください。

- 1 汚れた洗淨水を捨ててください。
- 2 下部ハウジングの底にたまった汚れやカルシウムはブラシなどで取り除いてください。
下部ハウジングは二重構造になっています。清掃後すきまから水が出てくる場合がありますのでご注意ください。
センサー金具に付着したカルシウムは雑巾などで取り除いてください。
- 3 ローラーディスクのカルシウムや汚れをブラシなどで洗い流してください。
清掃後、新しい水道水をローラーディスクを置いた状態で下部ハウジングの WATERLINE (水位線) 以下に入れてください。
ペンタ ハイジェン液の1回分を添加してください。
(使用量: 50ml ボトルは1本全量・500ml ボトルは1目盛り1回分)

清掃しないで使用し続けると汚れやカルシウムがギアに付着し動作不良の原因となります。



2 上部ハウジング、モーター・ファンユニットの掃除のしかた

ほこりを掃除機などで吸い取り、きれいにしてください。

上部ハウジングを清掃する場合はモーター・ファンユニットを取りはずして清掃してください。

※ 落下に気をつけて取りはずしてください。

P.9「モーター・ファンユニットを取りはずすには」参照

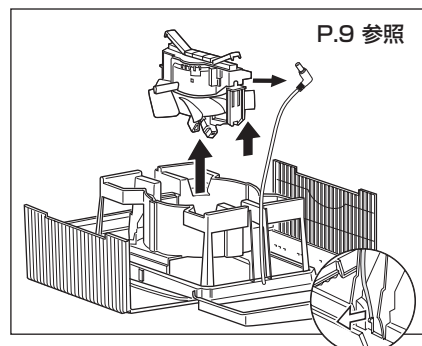
- モーター・ファンユニットは分解しないでください。
- モーターにたまったほこりなどは、モーター・ファンユニットの外から掃除機などで吸い取ってください。
- 上部ハウジングの格子状の面および側面は 180 度以上折り曲げないでください。
破損の可能性があります。上部ハウジングを開いたときは、注意してお取り扱いください。

水または湯で薄めた台所用洗剤又は石鹸を柔らかい布に含ませ固くしぼりファンの汚れを拭き取って下さい。

洗剤をご使用後は、固く絞った布で

洗剤を拭き取って下さい。

完全に乾いてから稼働してください。



知っておいていただきたいこと

ある環境において窓や屋外に面した壁などに、空気中の水分により結露をおこすことがあります。回転スピードを遅くすることにより、窓の枠や壁に水滴ができにくくなります。冬期にご使用される場合、窓や屋外に面した壁の近くに置かれますと、窓や壁の近くの温度が低いため、室内湿度が上がりにくくなる場合があります。(常温気化式の原理による) なるべく室内の中心に置いてください。



注意

- シンナー・ベンジン・磨き砂・たわし(ナイロン・金属製など)・台所用以外の洗剤などは使用しない。
- 上部ハウジングは水洗いしない。
ぬれたまま組み立てるとモーター内部に水が入り故障の原因となります。
- 下部ハウジングは二重構造となっており、この二重構造の内側と外側の隙間に清掃時等の水が入り込むことがあります。また、この水が時間の経過と共に外に出てくることもあります。
- ギアを取り外して清掃・分解は行わない。
ギアや取り付け部分等の破損の原因になることがあります。
- 上部ハウジングの格子状の面および側面は、180 度以上折り曲げない。



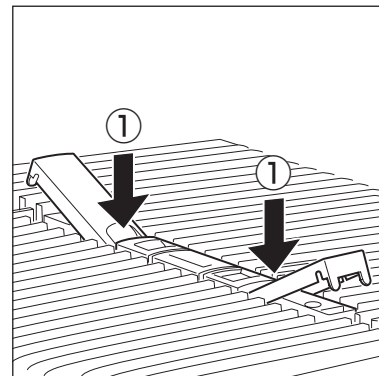
警告

- モーター・ファンユニットを分解しない。
- モーター・ファンユニットを水に浸けたり、水をかけたりしない。
- モーター・ファンユニットを水がかかる場所に置かない。

モーター・ファンユニットを取りはずすには

1 側面パネルを開ける

電源をオフにして AC アダプターをコンセントから抜いてください。まず、上部ハウジング上面の開閉ボタン①の内側を、両方押してロックを解除し、側面パネル（格子状でない面）②を開いてください。（図の矢印の部分参照してください。）

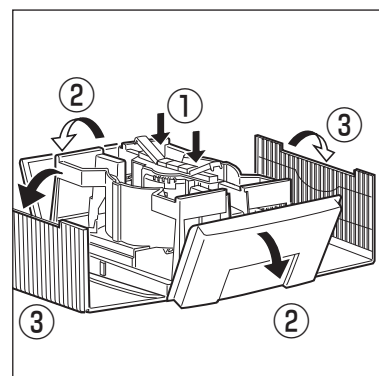


2 格子状面を開く

格子状面③を開いてください。（軽い力で開いてください。）

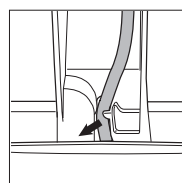
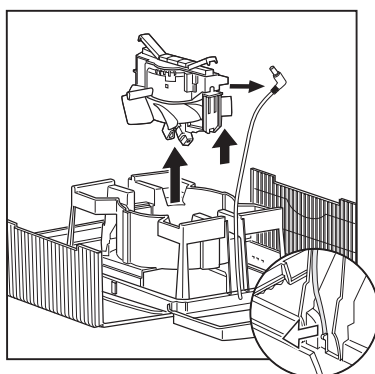
ご注意

格子状面および側面は、180 度以上折り曲げないでください。破損の原因となる場合があります。上部ハウジングを開いたときは注意してお取り扱いください。



3 モーター・ファンユニットを取りはずす

DC プラグをモーター・ファンユニットからはずしてください。モーター・ファンユニットを持ち上げて取りはずしてください。次にフックからケーブルをはずし、側面パネルの隙間から引き抜いてください。



フックからはずす



注意

- 組み立てる前に、全パーツが完全に乾いていることを確認する。

お手入れ後の上部ハウジングの組み立て

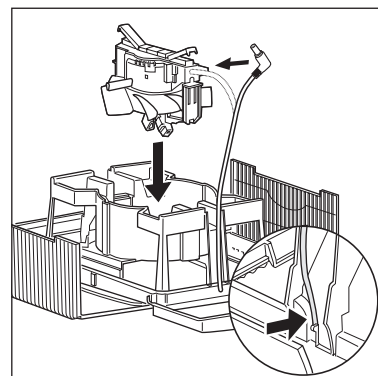
ご注意

組み立てる前に、全パーツが完全に乾いていることを確認してください。
ぬれたまま組み立てるとモーター内部に水が入り故障の原因となります。

1 モーター・ファンユニットのとりつけ

モーター・ファンユニットを元通りにとりつけ、側面パネル下の隙間からケーブルを通してください。モーター・ファンユニットにDCプラグを奥まで差し込んでください。次にケーブルをフックにセットしてください。（図の丸で囲んだ部分を参照してください。）

※ 正しくとりつけないと安全装置が解除されず電源が入らない、または ▼ お知らせランプが点灯することがあります。

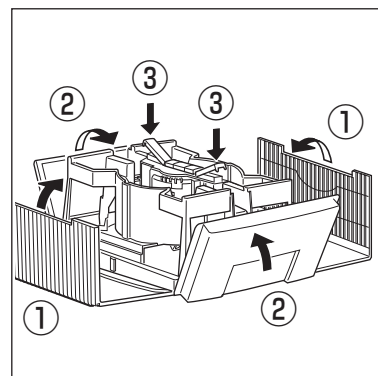


2 本体を閉じる

上部ハウジングの開閉ボタン③は開けたときのまま、内部が押し上げられた状態であることを確認してください。

最初に格子状面①を閉めてください。次に側面パネル②をカチッと音がするまで閉めてください。

（図の矢印の部分を参照してください。）

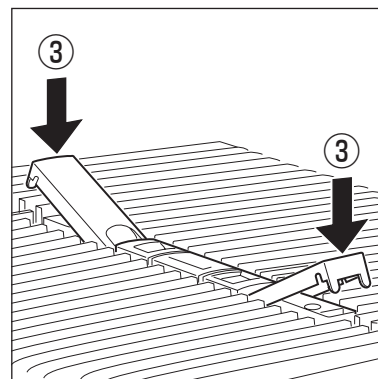


3 開閉ボタンを閉じる

両方の開閉ボタン③を閉じて、もとの位置に戻してください。

ご注意

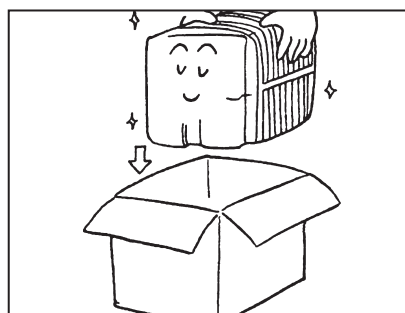
順番を逆にして無理に閉じようとすると、上部ハウジングが割れるおそれがあります。



保管のしかた

長期間使用されない場合、汚れをきれいに取り除いてから、十分乾かしたあとに保管してください。保管時、下部ハウジングに水分を残さないでください。本体に残った水はミネラルの残留物を残し、また微生物の住み家となります。ベンタ エアウォッシャーを再梱包し、涼しい乾燥した場所に保管してください。

※ 本器が入っていた化粧箱および梱包箱は、保管または修理時に必要ですので捨てないでください。



付属品と別売品

付属品

ベンタ ハイジエン液（衛生添加剤） 内容量：50ml × 1 本入

ベンタ ハイジエン液はベンタ エアウォッシャーの加湿・清浄能力を高め、水あか・カルシウム・臭いなどを抑えます。

- ・ 使用方法 ご使用前にボトルをよく振ってから、水道水を注いだあとに 1 本（50ml）全量を添加してください。
- ・ 保管方法 直射日光を避け、冷暗所（凍結は避けてください）に保管してください。
- ・ 同梱場所 緩衝用発泡スチロール横

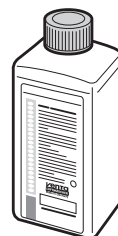


別売品

お求めの際は、P14 の総販売元（株）インターフェストにてご購入できます。

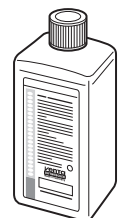
ベンタ ハイジエン液（衛生添加剤） 内容量：500ml 8回～14 回分（機種により異なります）

ベンタ ハイジエン液はベンタ エアウォッシャーの加湿・清浄能力を高め、水あか・カルシウム・臭いなどを抑えます。



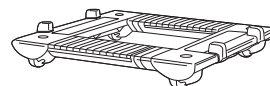
ベンタ クリーナー 内容量：250ml 1 回分

ローラーディスクの清掃に使用します。
半年に 1 回のご使用をお奨めします。



トロリー：ブラック / ホワイト 専用キャスター

LW25 K / LW25 KW / LW45 K / LW45 KW 専用です。
ベンタ エアウォッシャーをスムーズに動かせます。水の入ったベンタを持ち上げずに移動できます。
簡単に設置ができます。



使用上の注意

- ベンタハイジエン液・ベンタ クリーナーは、ベンタ エアウォッシャー専用の添加剤ですのでベンタ エアウォッシャー以外には使用しないでください。
- ボトルの栓はしっかりと閉め、乳幼児の手の届かないところにおいてください。
- 目に入らないようにしてください。こぼれた液は水で拭き取ってください。（ベンタ ハイジエン液・ベンタ クリーナー）
応急処置：目に入った場合、こすらず流水で 15 分以上洗い流してください。皮膚についた場合、水で洗い流してください。万一飲み込んだ場合、水を飲ませるなどの処置をしてください。いずれの場合もすぐに医師に相談してください。
- 万一飲み込んだ場合、すぐに本品を持参し、医師に相談してください。（ベンタ ハイジエン液・ベンタ クリーナー）
- ベンタ エアウォッシャーにはベンタ ハイジエン液・ベンタ クリーナーの添加剤以外は使用しないでください。
- ベンタ ハイジエン液・ベンタ クリーナーは、洗剤・クリーニング剤・他の化学製品と一緒に使用しないでください。
- ご使用になる前にベンタ ハイジエン液・ベンタ クリーナーのボトルに貼られたラベルを必ずお読みください。正しい使い方や応急処置が書かれています。

※ 付属品、別売品は、製品改良のため予告なく変更することがあります。

よくあるご質問（総合編）

お客様へ

ベンタ エアウォッシャーをお買い上げいただき、ありがとうございます。ベンタ エアウォッシャーをお使い頂ければ、非常に衛生的で簡単にクリーニングでき、シンプルな技術・構造であることがお分かりいただけると思います。ベンタの働き・しくみをご理解いただくために下記のQ & Aをお読みください。

■ ベンタ エアウォッシャーはどのように加湿しているのですか？

ベンタ エアウォッシャーは常温気化式を採用しているため、ホワイタダストや熱い蒸気、ミストを放出しません。ローラーディスクが洗浄水の中で回転することで4.2m² (LW45) 以上の表面積を確保できます。乾いた空気がローラーディスクの表面に接触すると水が気化し、室内に放出されます。常温気化式なので加湿しすぎることはありません。

■ ベンタ エアウォッシャーはどのようにして空気を清浄しているのですか？

空気中の汚れ・チリ・ほこり・花粉等の粒子は吸い込まれ回転しているローラーディスクに当たります。粒子はぬれたローラーディスク上の水に付着し洗浄水に取り込まれます。きれいな水だけが蒸発し、捕集された粒子は下部ハウジングの底に残ります。10～14日ごとのすすぎ洗いにより、取り込んだ汚れは取り除かれます。

■ ベンタ エアウォッシャーを使うのに適した状況は？

お客様のニーズにより異なります。ベンタ エアウォッシャーは省エネルギー設計なので、一日中お使いいただいても低コストです。効率よくお使い頂くために、連続運転をお奨めします。

■ どれくらいの加湿能力がありますか？そしてどれくらいの頻度で給水すれば良いのですか？

理想的な条件下で40～55%の加湿能力がありますが、暖房／冷房、家の気密度、配置、空気換気システム、下部ハウジング内の水の量などが加湿能力に影響します。乾燥の激しい地域や使用開始後最初の数日間は水の蒸発が早かったり、湿度が40%まで上がらないことがあります。水を毎日WATERLINE（水位線）以下に補給してください。

■ ベンタ エアウォッシャーの設置場所はどこが良いですか？

ベンタ エアウォッシャーはできるだけ部屋の中心に、できれば窓や熱源から離れた場所に置いてください。ベンタ エアウォッシャーの大型サイズを複数の部屋で使用される場合は部屋と部屋の間の中心に置いてください。空気循環のために上面、加湿過多にならないために格子面を壁から約50cm離してください。

■ ドアや窓を開けていると効果に影響しますか？

適正湿度を保つためには密閉した部屋が最適です。エアコンが稼動しているときに窓やドアを開けると同じことです。部屋と部屋との間のドアは空気循環のために開けたままでもかまいません。

■ ベンタ ハイジェン液を使う必要はありますか？

ベンタ ハイジェン液は洗浄水中のミネラル分が固まり、除去が困難になるのを防ぎます。さらにベンタ ハイジェン液により水の表面張力が低下し、ローラーディスク表面に均等な水の膜ができるため、ローラーディスクの表面積を最大限利用でき、加湿・空気清浄能力が上がります。また水あかやいやな臭いの発生を抑えます。

■ 下部ハウジングに水がなくなったら、どうなりますか？

水が下部ハウジングの底より約2cmになると運転が自動で止まります。（▼お知らせランプ赤色の点灯）常に水が満たされているようにしてください。

■ 水がすべて蒸発してしまったとき、ベンタ ハイジェン液を追加する必要はありますか？

ハイジェン液の成分は気化しませんので、その必要はありません。水を加えるだけでベンタ ハイジェン液の効果は元に戻ります。カルシウムの付着防止効果は、ハイジェン液1回の添加で10～14日程です。

■ ベンタ クリーナーはどのようなときに使うといいのですか？

汚れの具合にもよりますが、半年に1度くらいを目安にご使用ください。また本体をしばらく使用しないで保管される場合も、カルシウム分の固着を防ぐためにベンタ クリーナーのご使用をお奨めします。

■ ベンタ エアウォッシャーをクリーニングするベストな方法は？

10～14日ごとに下部ハウジングをすすぎ洗いし／濡れたスポンジで拭いてください。ディスクをすすぎ洗いし／柔らかいブラシかスポンジでこすり洗いしてください。定期的にベンタ クリーナーを使って十分にクリーニングするとさらに効果的です。洗浄時には上部ハウジングからモーターファンユニットを取り出してモーターに水がかからないようにご注意ください。

■ どのサイズのベンタ エアウォッシャーがいいのですか？

部屋の大きさにあったベンタ エアウォッシャーをカタログからお選びください。天井の高さ・暖房器具・換気システム・室温・気密度・鉄筋または木造建築・楽器・観葉植物やペットなどの条件が加わった場合、理想的な状態を維持するためにワンサイズ大きいモデルをお奨めします。

■ ベンタ ハイジェン液や付属品、部品はどこで追加購入できますか？

お求めの際は、P14の総販売元(株)インターフェストにてご購入できます。

よくあるご質問（ベンタ ハイジェン液編）

■ ベンタ ハイジェン液の働きは？

ベンタ ハイジェン液は、効果ある活性物質が配合されていて、ベンタ エアウォッシャーの衛生運転を長期にわたってお約束します。水中のカルシウム分の固着を防ぎます。また水の表面張力を大きく下げることにより、ローラーディスクの表面が均等な水の膜で覆われ、加湿と空気清浄効果を高めます。

■ ベンタ ハイジェン液の成分は何ですか？

ベンタ ハイジェン液は効果ある活性物質と添加剤が配合されています。配合成分は、水に関する技術、衛生、処理の分野で専門の著名な化学会社によって供給されています。
内容成分：＜5% ホスホン酸塩、＜5% 陽イオン界面活性剤、非イオン性界面活性剤、保存料（BIT/MIT）

■ ベンタ ハイジェン液は生物学的に分解可能ですか？

ベンタ ハイジェン液に使用されている主な活性成分は生分解性が高く、これは有効期間が約 10 ～ 14 日間であることで実証されています。他の添加剤や反応物質も天然に存在している成分であり、環境に害を及ぼすことはありません。このため、洗浄水を交換する際に何の心配もなく流し捨てることができます。例えばトイレなどにも流すことができます。

■ ベンタ ハイジェン液は有害ですか？

約 30 年もの間実際に使用され、今まで健康に対して有害または危険となったことはありません。

■ ベンタ ハイジェン液にラベル表示義務はありますか？

ますます厳格になってきている今日の法規制に従っています。ベンタ ハイジェン液には特別な情報が必要とされるような成分は含んでおりません。また、現在の有害製品に関する規制に準じたラベル表示義務也没有ありません。家庭用の洗剤や家事用品と同様、取り扱いに注意し、また子供の手の届かない場所に置いてください。

■ ベンタ ハイジェン液の添加量は？

洗浄水を 10 ～ 14 日ごとに新しく交換する時に、ベンタ ハイジェン液を容器の目盛りに従って適量添加してください。（毎日の水道水を注ぎ足すときにベンタ ハイジェン液を再添加する必要はありません。）

■ ベンタ ハイジェン液の保存方法は？

ベンタ ハイジェン液は、乾燥した冷暗所に保管してください。

■ ベンタ ハイジェン液の使用期限はどれくらいですか？

製造後 2 年です。

このようなときは



警告

改造はしないこと。また、ベンタ社認定修理技術者以外の人は分解したり修理しないこと。火災・感電・けがの原因となります。

修理を依頼される前に

ご使用中に異常が生じたときは、電源をオフにして再び電源を入れていただき動作を確認してください。それでも異常が直らないときは次の点をお調べください。

症 状	考えられる原因	解決法
運転しない	・ AC アダプターがコンセントから抜けていませんか。	AC アダプターをコンセントに差しなおし、電源  をオンにしてください。
	・ DC プラグがモーター・ファンユニットから抜けていませんか。	DC プラグをモーター・ファンユニットに差しなおし、電源  をオンにしてください。
	・ 接続ゴムがはずれていませんか。	ギア側、ファン側にセットし電源  をオンにしてください。
	・ ローラーディスクが正常にセットされていますか。	ローラーディスクをセットしなおして電源  をオンにしてください。
	・ ギアが正常にセットされていますか。	ギアを正しくセットしなおして電源  をオンにしてください。
●運転表示ランプ 青色の点滅	・ モーター／ギアが動作不良をおこしていませんか。	モーターファンユニットまたはギアの交換が必要です。
▼お知らせランプ 赤色の点灯	・ 水が不足していませんか。	電源  をオフにし、AC アダプターをコンセントから抜きます。水を補給し、電源  をオンにして運転を再開してください。「長く快適に使っていただくために」の「毎日」をご参照ください。P 7
	・ 上部カバーが開いていませんか。	上部の開閉ボタンを操作しカバーを閉め直してください。電源  をオフにし、その後オンにします。
	・ 上部ハウジングと下部ハウジングが正しくセットされていますか。	上部ハウジングを下部ハウジングに正しくセットしなおしてください。電源  をオフにし、その後オンにします。
	・ ケーブルが上部ハウジングと下部ハウジングの間にはさまっていませんか。	ケーブルを正しい位置にセットしてください。電源  をオフにし、その後オンにします。
	・ 下部ハウジングのセンサー金具にカルシウムが付着していませんか？	カルシウムを、雑巾などで取り除いてください。

※ ご使用当初は壁や家具などが湿気を吸収しますので、湿度が上がりにくいことがあります。

修理について

- 上記ご確認いただき、症状が直らない場合は、**品番と製造番号をご用意の上**、お買い上げの販売店または総販売元（株）インターフェストへお問い合わせください。（製造番号は上部ハウジング内側バーコード下の 13 桁）
- ご転居、ご贈答その他保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先	総販売元 株式会社インターフェスト TEL：06-4301-7797 FAX：06-4301-7754 URL：https://www.venta.co.jp 電話受付時間 月曜日～金曜日（祭日及び当社の休日を除く）10:00～12:00 / 13:00～17:00
---------	--

持込修理品の送付先は、ホームページにてご確認ください。

アフターサービスについて

1. 保証書 P.16 の内容のご確認と保存のお願い
販売店印およびお買い上げ日を必ずご確認のうえ、販売店から受け取り、内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

3. 修理を依頼されるとき

1. お買い上げ年月日

2. 品番と製造番号（上部ハウジングの側面内側にラベル貼付）

3. 故障の状況

を販売店または総販売元の（株）インターフェストに連絡のうえ、修理をご依頼ください。

《保証期間中》

製品に保証書およびご購入を証明する書類を添えて、（株）インターフェスト 修理部宛に宅配便でお送りください。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、保証書の記載内容に基づき修理させていただきます。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての破損、故障、改造したもの、譲渡、転売、中古品についてはその限りではありません。

保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

（イ）お取り扱い上の不注意・火災・天災・公害・異常電圧・指定外の使用電源による故障、損傷及び部品の当然の消耗などの場合

（ロ）ご自分で不当な修理・調整・分解・改造などをされたもの及び取扱説明書の禁止事項での使用による故障や損傷

（ハ）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷

（ニ）業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または破損

（ホ）日本国外で使用された事による故障または破損

（ヘ）水濡れによるモーターの動作不良

（ト）カルシウムや汚れ等の付着による異音や動作不良、破損

（チ）ギアへのカルシウム、汚れの付着、異物混入、清掃などによる動作音や動作不良、破損

（リ）本書のご提示がない場合
- （ヌ）本書にお買い上げ年月日・お客様名、販売店名の記入のない場合
あるいは字句を書き換えられた場合

（ル）使用上のご注意に記載されている誤った使い方をを行った場合

《保証期間を経過しているとき》

総販売元の（株）インターフェストにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。修理のご依頼方法、料金などにつきましては、弊社カスタマーサービスまたは、ホームページ顧客サービスの修理窓口ページをご覧ください。

4. 当社はこのベンタ エアウォッシャーの補修用性能部品[※]を製造打ち切り後、最低6年保有しています。

5. 梱包について
製品の入っていた梱包箱に入れて、輸送中の破損事故を防ぐため、梱包は十分に行ってください。製品が入っていた箱がない場合は、お手持ちのダンボール、緩衝材などで梱包していただき、お送りください。
（必ず故障の状況を記した修理依頼書またはメモを同封してください。）
モーターに水が入らない様に十分に水を拭き取ってください。また、われもの注意シールを貼ってください。

6. ベンタ エアウォッシャーが収納されていた化粧箱、外箱を保管してください。ご使用にならないとき、または、修理品送付の際に必要となります。

7. 上記の内容についての詳細・贈答・転居の場合など、その他、製品に関するお問い合わせ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店または総販売元までご相談ください。

総販売元は P.14「総販売元」参照

※ 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

品番	LW15 K / LW15 KW	LW25 K / LW25 KW	LW45 K / LW45 KW
加湿範囲	最大 20m ² （約 12 畳）	最大 40m ² （約 24 畳）	最大 75m ² （約 45 畳）
空気清浄範囲	最大 10m ² （約 6 畳）	最大 20m ² （約 12 畳）	最大 40m ² （約 24 畳）
ローラーディスク総表面積	1.4m ²	2.1m ²	4.2m ²
エアー交換容量	2m ³ / 分 まで	3.5m ³ / 分 まで	4.5m ³ / 分 まで
風量	2 段階	3 段階	3 段階
騒音レベル	22/32dBA	24/34/44dBA	24/35/45dBA
外形寸法（幅×奥行×高さ）	26 × 28 × 31 cm	30 × 30 × 33 cm	45 × 30 × 33 cm
本体重量	約 3kg	約 3.8kg	約 5.8kg
電源	100-240V / 50-60Hz		
消費電力 (50Hz/60Hz)	3-4W	3-5-8W	3-5-8W
洗浄水容量	5 リットル	7 リットル	10 リットル
保証期間	1 年間	1 年間	1 年間

最大天井高 2.5m で計測
天井の高さ、暖房器具、換気システム、室温、気密度、鉄筋または木造建築等の要因がある場合、できるだけ理想的な状態を維持するためにはワンサイズ大きいモデルをお奨めします。

ドイツ GAF による試験及びベンタ自社データにより、加湿・清浄範囲を算出しています。テスト機関：Gesellschaft für Allergieforschung mbH アレルギー研究所 mbH
適用範囲は目安です。お部屋の状況により異なります。
省エネルギー設計なので、電力をあまり消費しません。
仕様は、製品改良のため予告なく変更することがあります。

ベント エアウォッシャー（気化式加湿&空気清浄器）保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書の注意書きに従って正常な使用状態で使用していて故障した場合には、保証書の記載内容にもとづき無料修理いたします。商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店または総販売元（株）インターフェストに修理をご依頼ください。

品番	☐ LW15 K / LW15 KW ☐ LW25 K / LW25 KW ☐ LW45 K / LW45 KW		
お客様	お名前 様		
	ご住所 電話番号（ ） - 		
販売店	※店名・住所・電話番号		
修理保証期間	お買い上げ年月日 年 月 日より 本体1年間		

※印欄に販売店のゴム印及び記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- (イ) お取り扱い上の不注意・火災・天災・公害・異常電圧・指定外の使用電源による故障、損傷及び部品の当然の消耗などの場合
- (ロ) ご自分で不当な修理・調整・分解・改造などをされたもの及び取扱説明書の禁止事項での使用による故障や損傷
- (ハ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷
- (ニ) 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または破損
- (ホ) 日本国外で使用された事による故障または破損
- (ヘ) 水濡れによるモーターの動作不良
- (ト) カルシウムや汚れ等の付着による異音や動作不良、破損
- (チ) ギアへのカルシウム、汚れの付着、異物混入、清掃などによる動作音や動作不良、破損
- (リ) 本書のご提示がない場合
- (ヌ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合
- (ル) 使用上のご注意に記載されている誤った使い方をを行った場合

2. 転居・贈答品・譲渡・転売・中古品については、総販売元（株）インターフェストへお問い合わせください。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

- ・この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または総販売元（株）インターフェストへお問い合わせください。
- ・保証期間経過後の修理・補修用性能部品の保有期間について詳しくは、アフターサービスについての項をご覧ください。

修理メモ

総輸入元 ベンタ ジャパン株式会社 〒550-0015 大阪市西区南堀江1-14-12-7F
 ホームページ <https://www.venta.co.jp/>



かけがえのない森や緑をまもるため、再生紙70%を取扱説明書に使用しています。

01VJ191015